

おうちの図工室・美術室

〇〇のおさんぽ

対象学年 小学校1・2年生

想定時間 3時間

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

「もし大風が吹いたら、みんなは誰とおさんぽしたい？」

絵本「ぞうくんのおおかせさんぽ」の読み聞かせの後、子どもたちに語りかけました。

「わたしはくまさんがいいな！」「ぼくは恐竜！」それぞれがおさんぽさせたいものを、思い思いに透明のプラ板に描いていきます。透明なので、おさんぽさせたい〇〇を後でいろいろな場所にもって行って、自在におさんぽして遊ぶことができます。今回は、たくさんのおさんぽ世界を描けるように、渡り廊下に大きな透明シートをいくつも張り巡らしてみました。おさんぽさせたい〇〇をきっかけとして、子どもたちはおさんぽのお話を考えて描いていきます。一体、どんなおさんぽ世界が紡がれていくのでしょうか。

- 「ぞうくんのおおかせさんぽ」を読んでみよう。みんなは、だれとおさんぽしてみたいですか。
- 透明のプラ板におさんぽさせたい〇〇を描こう。透明だとあら不思議！描いた〇〇が別の絵のところにおさんぽできるね。
- みんなでおさんぽに出かけよう。みんなが楽しくおさんぽできるように、おさんぽの続きを描いていこう。
- どんな「おさんぽせかい」になったかな。いろいろな場所にお出かけしてみよう！

ANCSとしてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

おさんぽせかいを描いているうちに思いがけずお話が繋がったり、影響し合ったりしていきます。そうやって表現が多岐にわたっていく中で、「わたしはもっと〇〇したい」と思いを持つことが、自分の価値観を更新していくことにつながります。また、描いたおさんぽせかいを「これは、〇〇だよ」と友だちと語り合うことで、自身の表現を見つめ、捉えなおすことにもつながります。

共感性

「いいこと思い付いた。〇〇ちゃん見て見て！」「〇〇くん、一緒に〇〇を描こうよ」というように、「私の表現を見て！」という思いが湧いてきます。あるいは、意図せずとも友だちとおさんぽせかいが関わり合うこともあります。そんなときに、「〇〇がとっても面白いね。じゃあわたしはここに□□を描いてみよう」「〇〇ちゃんのおさんぽの続きは□□になるかな」と、友だちの想いを受け止めることで、表現がさらに豊かに広がっていくのです。

三観点

知識・技能

カラーペンや透ける表現から想像を広げて表すときの感覚や行為を通して、色々な色や形に気付いている。（知識）
カラーペンに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などカラーペンに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。（技能）

思考・判断・表現

透けるシートにお散歩の世界を描くことを通して捉えることができるいろいろな色や形を基に、自分のイメージをもちながら、カラーペンや透ける表現から表したいことを見付け、好きな色や形を選んだり、いろいろな色や形を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。（A 表現）
透けるシートにお散歩の世界を描くことを通して捉えることができる様々な色や形を基に、自分のイメージをもちながら、カラーペンや透けることによってできる造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（B 鑑賞）

主体的に学習に取り組む態度

お散歩の世界を描くことを通して「もっと〇〇したい」とつくりだす喜びを味わい楽しくカラーペンや透けることによってできる表現活動に取り組もうとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

今回は、おさんぽさせたい〇〇を透明シートに貼り、友達の表現と自分の表現との関わりを楽しみながら、おさんぽ世界の続きを描いていきました。透明シートは双方向から描けるので、描いているうちに思いがけずお話がつながったり、影響し合ったりしていきました。また、おさんぽさせたい〇〇は自由に動かすことができるので、〇〇をお気に入りの場所に持っていったり、〇〇を手で動かしたりしながらお話づくりを楽しんだりする姿も見られました。



かわいくまさんとおさんぽするよ



いろんな動物がいるね。
上にキリンがいるよ。
うわっ！オニだ！逃げろ～！



恐竜がおうちの上に来てきたよ！